

成27年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果  
七飯町のまとめと課題

文部科学省は12月10日、平成27年度の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」（以降：全国体力テスト）の結果をまとめた。それを受け、「北海道版結果報告書」も発表された。

全国体力テストは4月から7月にかけて、全国の国公立学校の小5と中2の全ての児童生徒を対象とする悉皆調査方式で実施された。七飯町は小学校6校の小5男子113名・女子113名、合計226名。中学校4校の中2男子113名・女子119名、合計232名が参加した。

(青文字は優れている点・赤文字は劣っている点)

## 1 実技に関する調査

### ○ 体力合計点（T得点で比較）

- ・小学校は男女とも全国・全道平均を下回っている。全国平均との差は、男子3.5ポイント、女子2.0ポイントである。
- ・中学校は男女とも全国・全道平均を下回っている。全国平均との差は、男子2.2ポイント、女子4.3ポイントである。

### ○ 各種目

- ・小学校男子で全国平均を上回ったのは「握力」だけで他は下回っている。女子は「握力」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」で全国を上回っている。女子の握力は全国平均より0.86kg、ソフトボール投げは1.07m上回り、握力は男子よりも上回っている。しかし、男女とも特に「上体起こし」「長座体前屈」「シャトルラン」の差が大きい。
- ・中学校男子で全国平均を上回ったのは「握力」「持久走」でそれぞれ3.7kg 17.37秒上回っている。女子は「握力」「長座体前屈」が上回り、特に握力は2.51kg上回っている。しかし、男子は「反復横跳び」の差が大きく、女子は「握力」「長座体前屈」以外はすべて全国平均を下回り、その開きも大きい。

### ○ 総合評価（8種目の体力テスト合計得点を良い方からABCDEの5段階で評価）

- ・小学校は男女ともAとBの上位層の割合が全国を下回り、DとEの下位層の割合が全国を上回る。男子の上位層の割合は15.4ポイント低く下位層の割合は7.6ポイント高い。女子の上位層の割合は7.6ポイント低く下位層の割合は3.7ポイント高い。男子の落ち込みが激しい。
- ・中学校は男女ともAとBの上位層の割合が全国を下回り、DとEの下位層の割合が男子のEを除き全国を上回る。男子の上位層の割合は10ポイント低く下位層の割合は6.1ポイント高い。女子の上位層の割合は14.2ポイント低く下位層の割合は13.4ポイント高い。女子の落ち込みが激しい。

## 2 体格と肥満・痩身度に関する調査

### ○ 体格（身長・体重）

- ・小学校は男子の身長以外で男女とも全国平均を上回り、男子は全国とほぼ同様であるが、全道よりは下回っている。女子は身長・体重とも大きく全国を上回り、全道よりも上回っている。
- ・中学校は男女とも身長・体重とも全国平均を上回り、男子の体重以外は男女とも全道平均も上回っている。

### ○ 肥満、痩身度（肥満や痩身傾向児の出現率）

- ・小学校は高度肥満と中度肥満の合計が男子で全国より7.6ポイント高く、全体の12.4%も占め、女子は6.1ポイント高く。全体の9.8%を占める。

- ・中学校は高度肥満と中度肥満の合計が男子は全国より **1.0ポイント** 低く、全体の3%程度であるが、女子は **5.7ポイント** 高く、全体の8.4%を占める。
- ・痩身傾向の児童生徒は、小学校の男子でやや多いが小学校・中学校の男女とも正常な範囲での出現率である。

### 3 児童生徒質問紙調査

#### Q1 運動が好き

- ・小学校男子は好き・やや好きを合わせて、全国・全道よりやや高いが大きな差はない。95.6%を占める。
- ・小学校女子は好き・やや好きを合わせて、全国・全道よりやや高く大きな差はないが、特に「好き」が **6ポイント** ほど高い。92%を占める。
- ・中学校男子は好き・やや好きを合わせて、全国・全道よりやや高いが大きな差はない。91.1%を占める。特に「好き」が **17ポイント** ほど高い。
- ・中学校女子は好き・やや好きを合わせて、全国・全道とよりやや低い。76.4%を占める。

#### Q5 運動部所属

- ・小学校男子は加入率58.9%で全国・全道より低い、全国と **13ポイント**、全道と **7ポイント** ほど低い。
- ・小学校女子は加入率54.0%で全国よりやや高い、全国と **4ポイント**、全道と **11ポイント** ほど高い。
- ・中学校男子は加入率67.3%で全国・全道より低く、全道とはほとんど差はないが、全国とは **10ポイント** ほど低い。しかし、地域のスポーツクラブ加入が全国より **5ポイント** ほど高い。
- ・中学校女子は加入率43.7%で全国・全道より低く、全国と **13ポイント** ほど低い。

#### Q7 授業以外の運動やスポーツ（曜日毎と1週間の総運動時間～分布グラフ参照）

- ・小学校男子の実施率は大差ないが、総運動時間が全国より **110分**、全道より **154分** 短い。（900分以上の少数の児童と400分以下の多くの児童の2極化の前兆のように見えるが）
- ・小学校女子の実施率は大差ないが、総運動時間が全国より **90分**、全道より **58分** 長い。（0分に近づくにつれての児童の増加の曲線、全体的な運動習慣の取り組みが必要か）
- ・中学校男子の実施率は大差ないが、総運動時間が全国より **99分**、全道より **33分** 短い。（600分以上の高時間にバランスよく分布。理想的か。200分以下の生徒の個別指導が必要）
- ・中学校女子の実施率は **12ポイント** も低く、総運動時間が全国より **109分** 短く、全道より **31分** 短い。（300分以下の低時間と900分以上の高時間の明確な2極化。低時間の方の生徒の運動習慣が必要）

#### Q15 家の人からの運動のすすめ

- ・小学校男子は全国・全道よりやや低いが、他は全国・全道より高い

#### Q12 体育の授業は楽しい

- ・中学校女子は「楽しい」の割合が全国・全道と同様で39%ほどであるが、小学校男女・中学校男子は、全国・全道よりや「楽しい」のポイントが **5～9ポイント** ほど高く、58～78%を占める。

### 4 七飯町児童生徒の大きな課題

- ① 小学校男女・中学校女子の肥満傾向児童生徒の対策
- ② 中学校女子の運動習慣化と体力向上
- ③ 小学校男女の「筋パワー・筋持久力」「柔軟性」「全身持久力」の向上
- ④ 小中男女とも下位層（日常の運動時間の少ない児童生徒）の運動習慣の定着